授業科目	＊小児看護学実習(2022 年度入学生)					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	必修	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	樋口　由貴子、藤本　奈緒子、永野　英美						
授業概要	既習の知識・技術・態度をもとに、実践を通して、健康障害をもった子どもと家族の看護に必要な基礎的な実践能力を習得する。実務家教員としては、臨床現場での経験を生かし、具体的な例や臨床でのモデルとなり学生の学びを支援する。						
授業形態	学生は教員および実習指導者の指導・助言を受けながら、主体的に実習に取り組む。			授業方法	実習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．健康障害をもった子どもと家族に対して、事例を受け持ちながら看護過程を展開できる。 詳細は、実習要項参照 健康障害をもった子どもと家族に対して、事例を受け持ちながら少なくとも 1 つ以上の看護問題を明確にし、看護計画をたて看護過程を展開できる。
理想的レベル	健康障害を持つ子どもと家族に対して、事例を受け持ちながら、発達障害段階に適した個別性のある看護を展開できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物		
その他	50%	実習態度等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	－	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31304J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
実習前に事前学習として提示する。	0

授業計画

第 1 回	2 週間の実習期間、原則として患児 1 名を持ち、受け持ち患児の状態と病棟の状況に即して講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。 具体的な方法及び実習内容については、実習要項で説明する。
テキスト	なし
参考図書・教材／データ	実習中適宜紹介します。

ベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	レポートは、実習中にコメントし最終提出後もコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	3 年前期までの知識・技術、特に小児に関連した科目は、しっかり復習して実習に臨んでください。 実習中は自分自身の健康管理に十分留意してください。 また、受け持つ子どもと家族への安全・安楽に配慮した行動と倫理的態度、日々の学習に真摯に向き合う姿勢を持ち、積極的に学習に取り組んでください。 実習前に、看護学実習要項を基に説明します。